

教え子を再び戦場に送るな！

教員評価制度の調査に  
今春、ILO・ユネスコ調査団訪日・来阪

「評価・育成システム」やめての声を  
全教職員署名に！

12月のボーナス、そして、1月の昇給に昨年度の評価結果が反映されました。昨年の「A」評価、「B」評価で昇給に差が生まれまして。ボーナスにも違いが生まれまして。  
多くの教職員が、そして

管理職が不合理・不公正・不透明と感じています。  
「オールAやすべてB評価の学校があるなど評価基準にあまりいい点があり…これでは不公平感が強まるのではないか」(大管協情報 07年7月)

日本の教員評価制度等について今春、ILO・ユネスコ調査団が大阪府の評価制度を調査します。

ILO・ユネスコ共同専門委員会が03年に日本政府に出した勧告では「知りうる範囲において、過去に実施された多くの勤務評価制度は公正かつ平等に実施されず結局廃止されている」と述べていました。

今、大教組は「評価システム」の廃止と賃金リンク撤回を求める署名にとりくんでいます。

大阪の教職員は「教員評価制度をのぞんでいない」の意志を表しましょう。  
署名へのご協力をお願いします。

全教

2008年2月12日  
NO. 411

とよなか

全教豊中教職員組合

〒561 0874

豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

Webページ

http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/

## 開き直り・居直りの態度

(松岡人権企画課課長補佐)

「“部落解放同盟”の悪口を言われたら、腹が立つ者もいる」

「部落解放同盟の学校介入は一切ない」

### 交渉での全教豊中の 問いに対する 市教委の答え

- ・市人研は任意の団体
- ・校務分掌での市人研担当は市教委として決めるようにしていない。
- ・市人研の調査報告は強制ではない。受ける受けないは学校できめる。

1月30日、同和教育などについて、市教委人権教育企画課と交渉をもちました。出席は田中課長・松岡課長補佐など。

豊中の「旧同和校」で二年という短期間での転勤が多い実態があり、転勤者から地域（つまり、解放同盟の支部）とのかかわりのしんどさを全教は聞きとっています。

こうした事例を市教委に示しました。しかし、市教委は「具体的でない」「学校長からは、（問題があると）聞いていない」という姿勢に終始。松岡課長補佐はしまいには、「部落解放同盟の悪口を言わ

れたら、腹が立つ者もいる」と机をたたく始末。

昨年の交渉で市教委が回答したことを載せた組合ニュースを意識したのか、「部落解放同盟の学校への介入は一切ない」と情宣（組合ニュース）に書きなさい」「市人研への全教職員参加」と担当者や学校長がいうのは当然。情宣に書きなさい」と大声をあげました。

「豊能地区人研への強制参加はない」「力づくで参加をさせるようであれば、市教委が指導する。そんな実態はない」という市教委の認識を示

しました。

大阪市や全国的にこれまでの「同和施策」の見直しがすすめられようとしています。

しかし、この豊中では、「同和」「人権」と名がつくだけで、自由にものが言えない雰囲気があります。

「地域連携」という名のもとに、「旧同和校」では部落解放同盟支部との連携を行っています。教育と運動の混同、行政と運動の混同が豊中市では続いています。

\*豊中市が補助金を出して運営している「とよなか人権文化まちづくり協会」という団体があります。豊中市のHPからリンクしており、機関紙17号（07年12月号）には、部落解放同盟本部書記次長を11月に招いて、組織と運動について語ったことが載せられています。こんな内容が市民の税金を使って平気でおこなわれています。

豊中の学校現場で、おかしいと思う実態がありましたら、全教豊中までご連絡ください。

# 118回定期大会開催 08年度新執行部を選出 組合員の充実した討論発言



2月8日、全教豊中は第一一八回定期大会を開催。（福祉会館）新年度08年度の役員・執行委員を選出しました。大会の討論では、食の安全の問題から、巨大給食センターについて、憲法9条を守る運動と教職員9条の活動について、12月の恒例スキーのとりくみ、臨時教職員の雇用不安の悩みが発言されました。新組合員の紹介のあと、団結がんばろう！をおこなって大会を終わりました。大会終了後、同場所ですのつどいをおこないました。のんびり歓談するとともにゲームをして交流を深めました。

## 08年度執行部

委員長	池田 和幸（1中）
副委員長	岡本 正雄（小曾根小）
	三輪 浩一（桜井谷東小）
書記長	西山 美樹（熊野田小）
書記次長	木田 好利子（東豊中小）
	藤木 桂子（寺内小）
会計委員	中野 淳子（15中）
執行委員	中道 玲子（北丘小）
	児玉 光司（東豊中小）
	宮本 郷子（北緑丘小）
	尾崎 孝子（野畑小）
	突田 行生（14中）
	高橋 信也（北条小）



## 大阪府知事選挙について

1月27日、投票された知事選挙は、橋下氏が当選。全教豊中が推薦した明るい会の梅田章二さんは当選に至りませんでした。

梅田さんは自公政治の悪政に輪をかけた2期8年の「オール与党」府政のもとで、府民のくらしと営業が全国最悪の落ち込みとなっていることを告発し「大企業いいなりからくらし・中小企業応援のあたたかい府政へ」「開発・借金つけからムダ・不正ゼロの府政へ」と大もとの転換を訴えました。

橋下氏は自公隠して選挙戦を戦い、「大阪を変える！」という府民の期待が寄せられました。しかし、選挙後には早速、東京詣で自公べつたりの姿勢を示しています。府独自の35人学級見直し報道や互助組合補助金一方的カットなど早速、府民・教職員の願いに背く方向を示しています。

全教豊中は引き続き、府民・市民要求の実現のためがんばります。

# KYOIKU実践

## 「盲導犬」の学習

桜塚小 北尾 秀徳

3年生の国語の教科書の中に「もうどう犬の訓練」という説明文があります。

これを導入にして、盲導犬について、少し詳しく、また、目の不自由な人について（人権教育の視点も入れて）子どもたちと学習しました。（1月の参観授業で）

まず、教科書の文章を全員で読みます。その後、自作した問題を仮説実験授業風を選択肢を示して、子どもたちに予想してもらいました。次は、その問題です。皆さんも考えてください。

\* 資料はすべて、日本盲導協会のホームページから作成しました。

問題1 現在日本には何頭

ぐらい盲導犬が、働いているでしょうか？

- ア 10000頭
- イ 50000頭
- ウ 100000頭

正解はアです。子どもたちの正解の正解は0でした。そんなに少ないのという思いが顔に出ている人もいました。

問題2 全国に目の不自由

な人は、何人ぐらいいるでしょうか？

- ア 10万人
- イ 20万人
- ウ 30万人

\* 目の不自由な人の説明をすること。正解はウで、4人が正解しました。イが一番多かったです。

この後は、今年の協会創立40周年ということで、盲導犬のパイオニアたちの勇気を発掘調査しているというエピソードを話してあげました。

その中に「千歳」という盲導犬（昭和18年、8年間）が戦争で傷つき、目の見えなくなつた元兵士に送られたことや千歳の子どもが山

崎さん（豊中でラジオの修理業を営む）に贈られ、買い物などに一緒に行っていたことなど。忠犬ぶりは「東京の八千公、大阪の千歳」と表現されたことも紹介しました。

最後に、盲導犬からのお願いのプリントを読んで終わりにしました。いつになく真剣に考え、読んでいた子どもたちの姿に成長の証を発見した気分でした。

